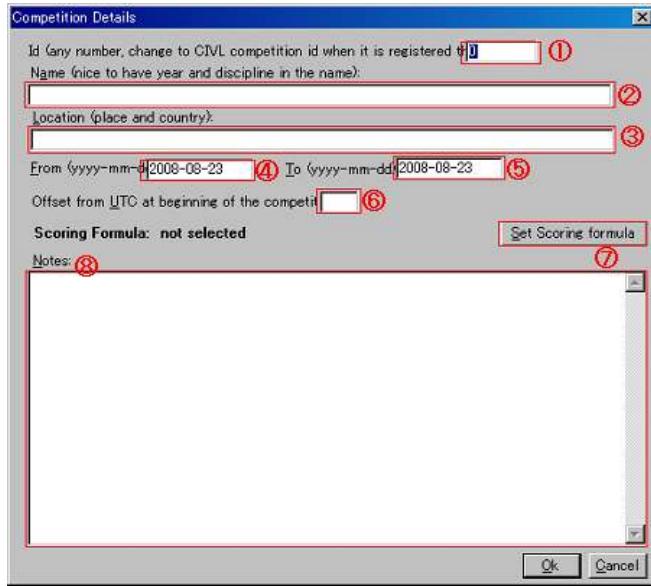


新しいfsdbファイルを作成する。	2
コンペティションディティールを入力	
参加選手リストの作成	3
GpsDump でwptファイルを作成する。(Geographical file 形式で保存する。)	4
各選手にGPSwpt(パイロン情報)を送信する。	5
設定	
送信	6
タスクを入力していく。	7
ルート設定の入力	8
各タスク結果集計	
各タスクのトラックログフォルダーを作成/指定する。	
GpsDump の設定	
COM ポートを設定する	
各選手のGPSログをダウンロード	9
トラックログの確認	10
Abs (欠席)、DNF(飛ば(べ)なかつた選手)、ミニマム距離以上飛べなかつた選手	
各タスク集計後、タスクリザルトを出す。	11
大会集計	12
各/全タスクが終了すれば、レポート→コンペティションリザルトを出す。	
女性のみや学生のみやツノ有りのみの結果を出す場合	

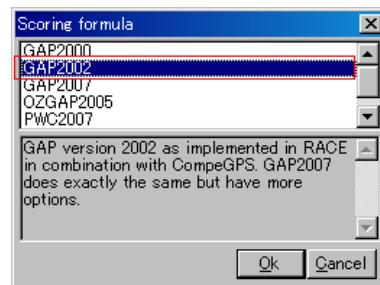
新しいfsdbファイルを作成する。

Fs(1.2.8)フォルダ内の「FsComp.exe」ファイルを実行しFSを起動する。
「File」→「New Competition」(ctrl + N)をクリック、
(次回よりは、「File」→「Open Competition」(ctrl + O)で作成済みのfsdbファイルを指定する)

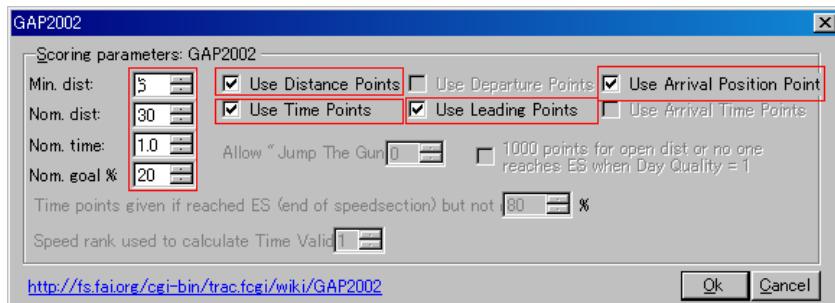
コンペティションディティールを入力



- ① CIVL公認大会では大会ID(Id)を入力
- ② 大会名(Name)を入力
- ③ 大会開催場所(Location)を入力
- ④ ⑤ 大会開催期間を入力
(初日(From(yyyy-mm-dd))と最終日(To(yyyy-mm-dd)))
- ⑥ 世界標準時刻と日本の時刻差を入力(Offset from UTC)
- ⑦ 「Set Scoring Formula」ボタンを押す(下図参照)
- ⑧ その他の詳細を入力



HGS大会では「GAP2002」を選択
「OK」をクリックすると下のダイアログが現れる



GAP パラメータを設定、

HGシリーズ: Min.dist : **6km**, Nom.dist : **35km**, Nom.time : **1.0h**, Nom.goal % : **20%**
(ミニマムディスタンス) (ノーマルディスタンス) (ノーマルタイム) (ノーマルゴール)

「Use Distance Points」、「Use Arrival Position Point」、「Use Time Points」、「Use Leading Points」の項目のチェックを確認

「OK」ボタンを押すと
FSの画面はパイロットリスト表示に移行する。

後で編集したい場合は
「File」→「Edit Competition Details」をクリックする。

任意の場所に大会用フォルダを作成する
「Ctrl + S」でfsdb ファイルを大会用フォルダ下に保存する。
(自動保存されないので、保存したいときに適時保存するようにする。)

参加選手リストの作成

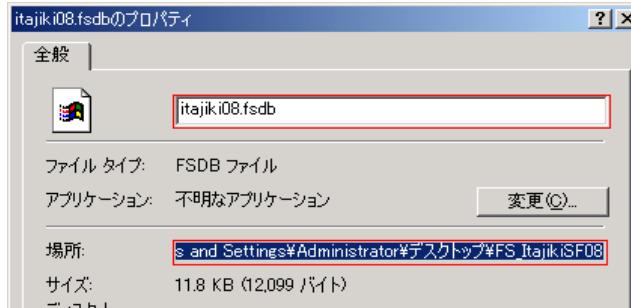
FSフォルダ内の「Participants.xls」ファイルを開く。

「マクロを有効にするか？」とダイアログが開かれるので、「有効にする」をクリックする。

If you have any other information about participants that is needed for result reports in FS, you can specify these in column J onwards. Starting with column J, in row 4 you should write the name of the attribute (called custom attribute in FS). Then in row 5 and down you place the value for each pilot.

If you have information about pilots that you do not need in the fsdb file f.ex. confidential information, but which you still need while running the competition, leave a column empty after the last column that should go in the fsdb file and info in the subsequent columns will not be imported to FS.

fsdbファイルのフルパスを指定する。
fsdb ファイルがあるフォルダを開き、
fsdb ファイルを右クリックしプロパティを選択し、
プロパティを表示させる。



右図の「場所」をコピーし、2行A段に貼り付ける。
￥を追加し、fsdbファイル名を追記する。

例: C:\Documents and Settings\Administrator\Desktop\FS_ItajikiSF08\itajiki08.fsdb
(エクセルの表記では￥が\と表示される)
(↑追記部分)

参加選手ごとに下記の項目を入力していく。
(ID、名前等だけでもよい。ただし、CIVL対象大会ではCIVLIDも入力する。)

id	name	nat	female	birthday	glider	sponsor	fai_licence	CIVLID	Student	KingPost	Class5
----	------	-----	--------	----------	--------	---------	-------------	--------	---------	----------	--------

女性の場合、female の欄に1又はYESを入力
「ツノありクラス」、「固定翼クラス」、「学生クラス」等クラスわけする場合は、
「J4」セル以右欄に「kingPost」、「Students」、「Class5」等と入力し、
学生の場合はStudent の欄に「yes」入力
ツノありの場合はKingPostの欄に「yes」を入力
固定翼の場合はclass5の欄に「yes」を入力

FsCompを一度閉じ、「Alt + F8」でマクロを実行する。
マクロ名を聞かれるので、そのマクロのまま実行ボタンを押す。

FsCompでfsdb ファイルを開きなおすと、以下のようなダイアログが出て、
レポートのテンプレートを大会フォルダにコピーするかを確認をしてきたら、OKを押す。

←←←← マクロがうまく実行されない場合はエクセルにて
「ツール」→「マクロ」→「セキュリティ」で
セキュリティレベルを中以下に設定



FsCompで「View」→「Participants」、選手リスト画面に移行し、
参加選手リストが正しいか確認し、保存する(Ctrl + S)

GpsDump でwptファイルを作成する。(Geographical file 形式で保存する。)

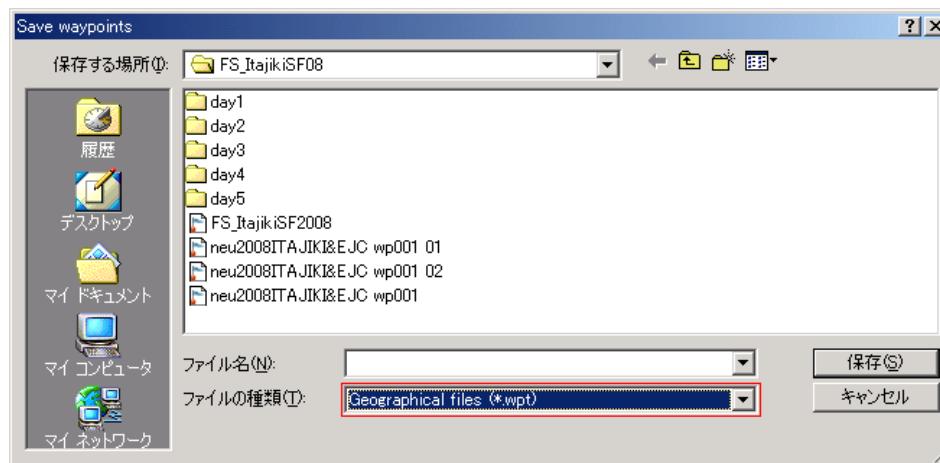
各種ソフトでwpt ファイルを作成したものがある場合

該当ソフトでGPSにwptを送信し、該当GPS機器を接続したのち、

GpsDumpの「Wpts」→「Read xxx(該当GPS機器)」ボタンを押し、wptをダウンロードする。

「Alt + A」でwpt を全選択し(要らないwptがある場合は「Ctrl + クリック」で選択をはずす)、

「File」→「Save wpts. As」を選択し、“Geographical file”形式で名前を入力し大会用フォルダ下に保存する。



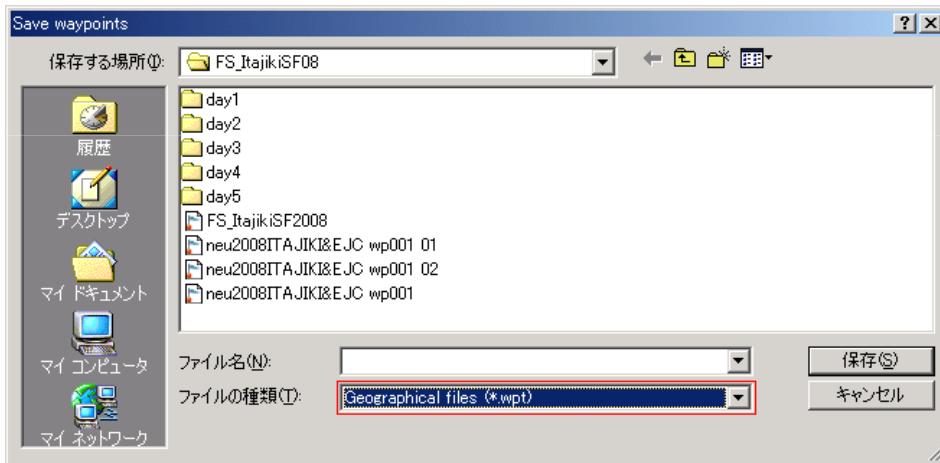
GPSで実地にwptを拾ってきた場合

該当GPS機器を接続したのち、

GpsDumpの「Wpts」→「Read xxx(該当GPS機器)」ボタンを押し、wptをダウンロードする。

「Alt + A」でwpt を全選択し(要らないwptがある場合は「Ctrl + クリック」で選択をはずす)、

「File」→「Save wpts. As」を選択し、“Geographical file”形式で名前を入力し大会用フォルダ下に保存する。

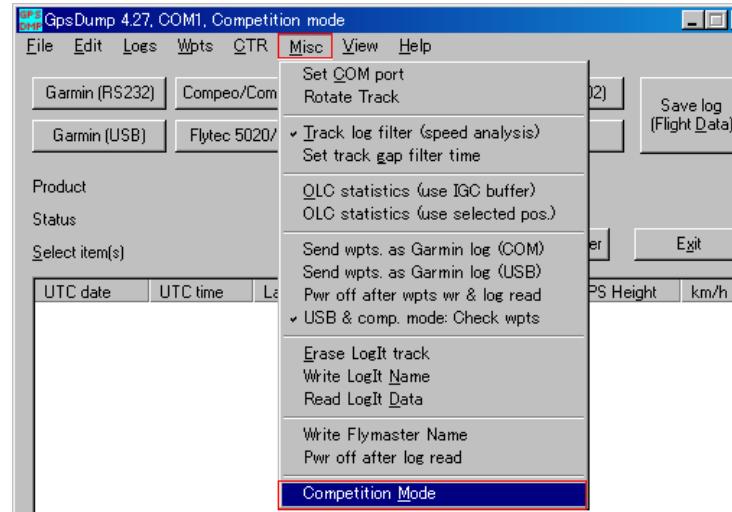
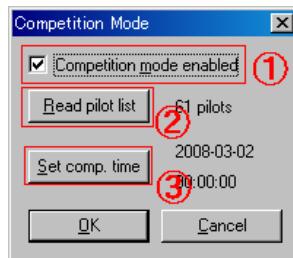


各選手にGPSwpt(パイロン情報)を送信する。

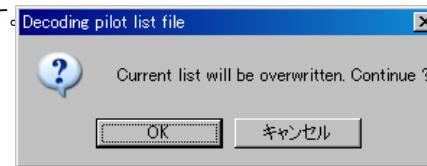
設定

GpsDumpを開き、「Misc」→「Competiton Mode」をクリック
(右図参照)

下のダイアログが出てくるので、
①にチェックを入れ、「Read pilot list」ボタンをクリック。
該当する大会のfsdbファイルを指定し、OKを押す。

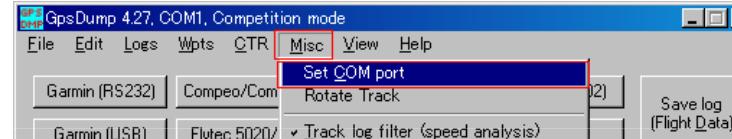


右図ダイアログにて上書きを確認される場合は、OKを押す。



COM ポートを設定する

GpsDump の「Misc」→「Set COM port」
COM ポートを選択し、OK をクリックする。



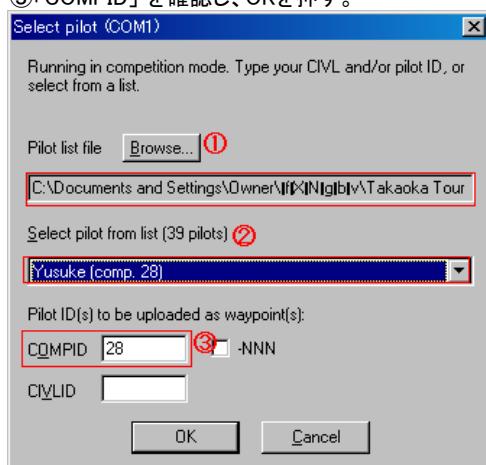
GpsDumpの「view」→「Waypoints」でウェイポイント画面にする。
GPSdumpの「File」→「Open Wpts」でwptファイルを指定しwptファイルを開く。

選手のGPSをPCに接続していきます。

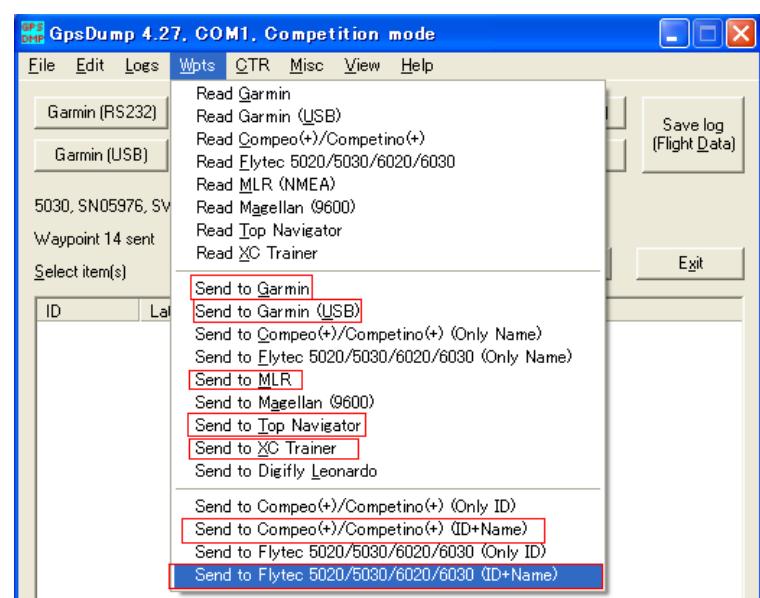
送信

「Ctrl + A」すべてのwptを選択した後、
GpsDump の「wpt」→「Send○○○」(該当GPS)
右図参照

下図のダイアログが出てくるので、
①「Pilot List File」(fsdbファイル)を確認し、
②「Select pilot」で該当選手を選択し、
③「COMPID」を確認し、OKを押す。

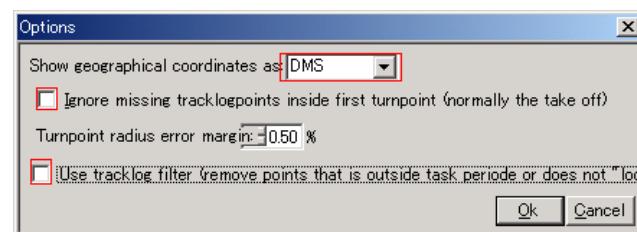


右図のように「○○sent」と表示されるので
その個数を確認。

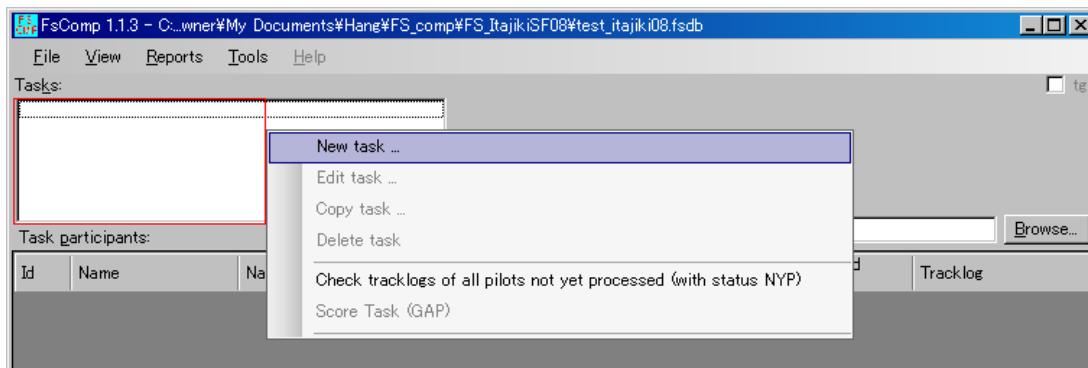


タスクの入力

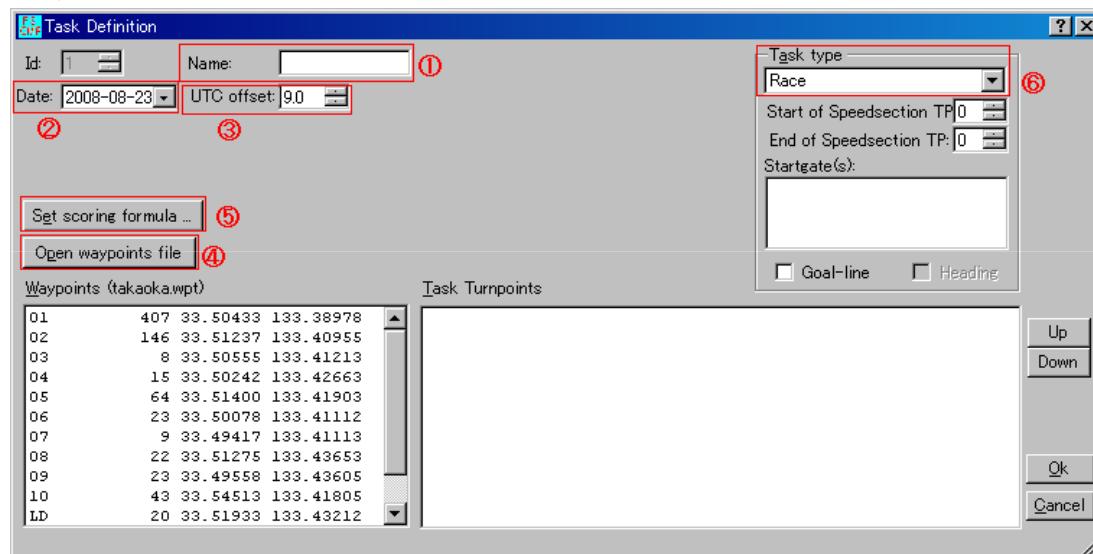
FsCompにて「Tools」→「Options」で右図ダイアログを開き、コーディネイトを「DMS」に変更し、その他のチェックを外し、OKを押す。



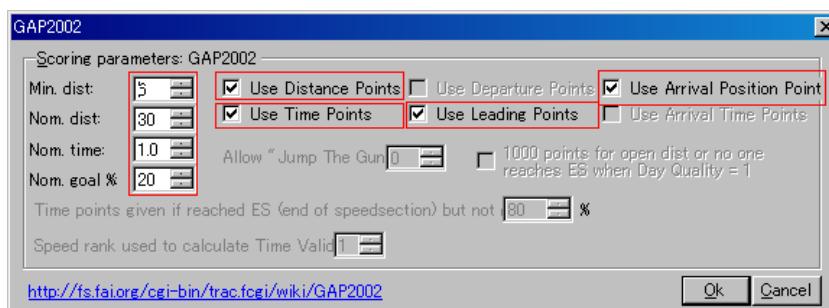
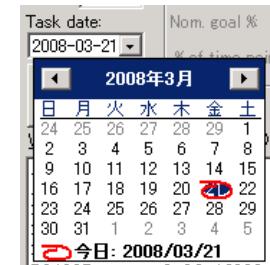
FsComp 「View」→「Tasks」でタスク設定画面に移行し、下図 赤囲部分で右クリック →「New Task」をクリックすると



Task Definition 画面が表示される



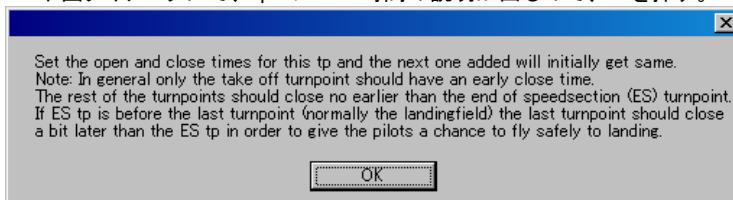
- ① Name を入力 例:「Task1」「day1」
- ② タスクの日付をチェックボックスから選択 (右図参照)
- ③ UTC offset が9.0なことを確認 (日本の場合)
- ④ 使用するウェイポイントファイルを選択すると、表示される。
(一つ目のタスクで選択すれば、以降のタスクでは選択されている。)
- ⑤ Task type は Race が選択されていることを確認
(他に Elapsed time と Open distanceがある)
- ⑥ Set scoring formula ボタンを押し、GAP2002(HGSの場合)を選択し、各設定を確認し、OKボタンを押す。 下図参照
(「Competiton Details」で設定しているのが反映されているので確認する)



ルート設定の入力

テイクオフパイロンの設定

「Task Definition」画面の左下部分のWPリストからテイクオフを選択し、ダブルクリックすると下図ダイアログにて、Open/Close時間の説明が出るので、OKを押す。



自動的に次から選択するWPには同じ時刻が設定される
注意: テイクオフは少し早めのクローズ時刻を持ち、
他のWPはESの終了時刻より遅くクローズされる。
ESよりも後のWPは各選手の安全を考慮して、
ESよりも少し遅く設定する。

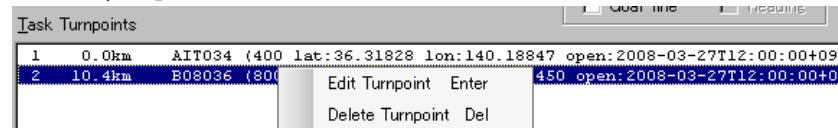
右図(半径、オープン/クローズ時刻)の設定ダイアログが出てくるので、Radius(半径)とOpen/Close時刻を設定し、Okボタンを押す。



スタートパイロンの設定

左下部分のWaypointsリストからスタートパイロンを選択し、同様に設定する。

(ここでのオープン/クローズ時刻はデパートチャータイムとは別。) デパートチャータイム(StartGate(s))の設定は後に記載
半径の設定に注意(右クリック→「Edit / Delete Turnpoint」で修正、削除できる。)



途中のパイロンの設定

同様に設定していく。(デパートチャータイムと1stパイロンが同じ場合、2個設定し、半径を変える)
順番を間違った際は右側部分の「up」「down」ボタンで順番を変更できる。

ES(End of speedsection) の設定

同様に設定していく。

半径の設定に注意。

ゴールラインの場合は

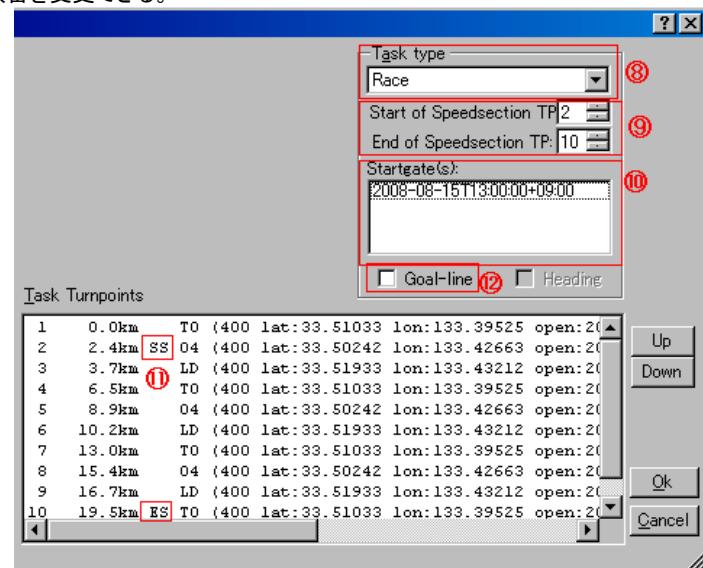
右図⑫部分のGoal-lineにチェックを入れる。

タスクタイプ、SS、ESの設定

⑧タスクタイプはRaceを確認

⑨の「Start of Speedsection TP」のチェックボックスで「Task Turnpoints」の何番目がSSかを設定する。
すると「Task Turnpoints」のパイロン名の左にSSマークが入る。(右図、赤部分⑪)

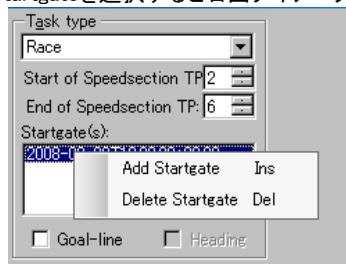
同様にES(End of Speedsection TP)も設定する。



デパートチャータイム(Startgate(s))の設定

⑩の「Startgate(s)」の中で右クリックすると

下図のように「Add Startgate/ Delete Startgate」が選択できるので
Add Startgateを選択すると右図ダイアログが出てくる。



時刻を設定する。(日本時間で設定する)
例: 10分間隔7回だと7個作成する。
(上図⑩スタートゲートの表示が2008-08-15T13:00 +09:00
と後ろに+09:00と表示されるがUTCとの差を表示している)



設定の終了

「Task Definition」ダイアログの右下部分のOKボタンを押すと右図のダイアログが出てくる

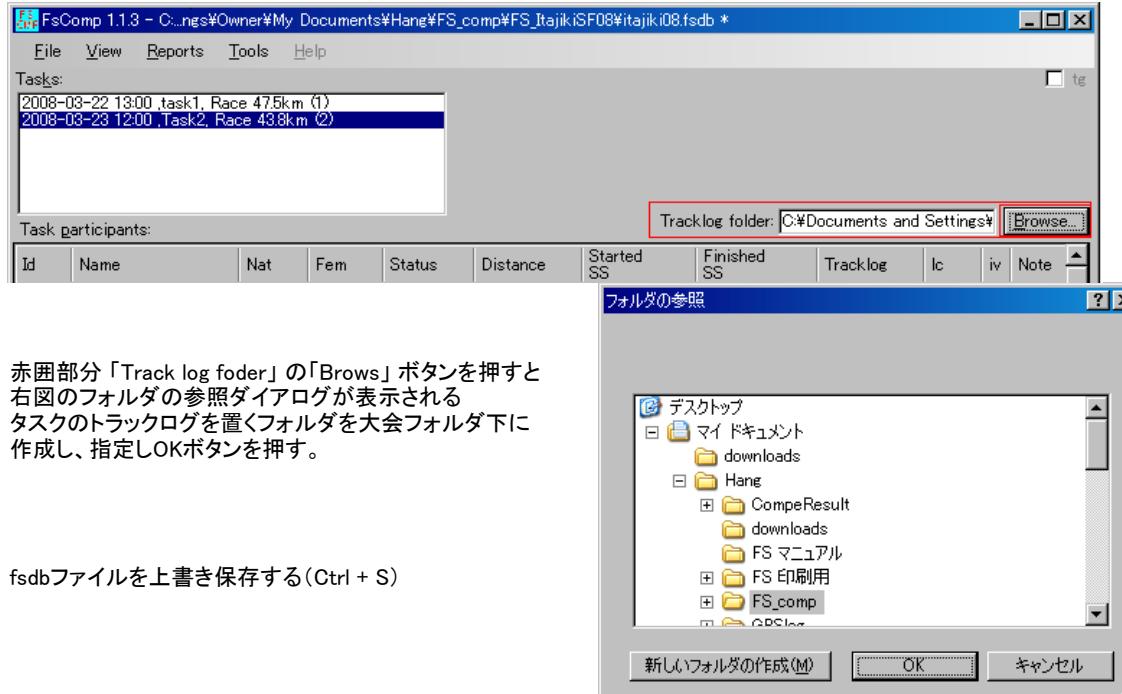
スコアリングパラメータを変更すると、
タスク / 大会 結果が変わるかもしれない
との注意なので、OKボタンを押す。



各タスク集計

各タスクのトラックログフォルダーを作成/指定する。

「View」→「Task Map」でタスクが正しいか確認し、必要があれば修正し、fsdbファイルを上書き保存する(Ctrl + S)



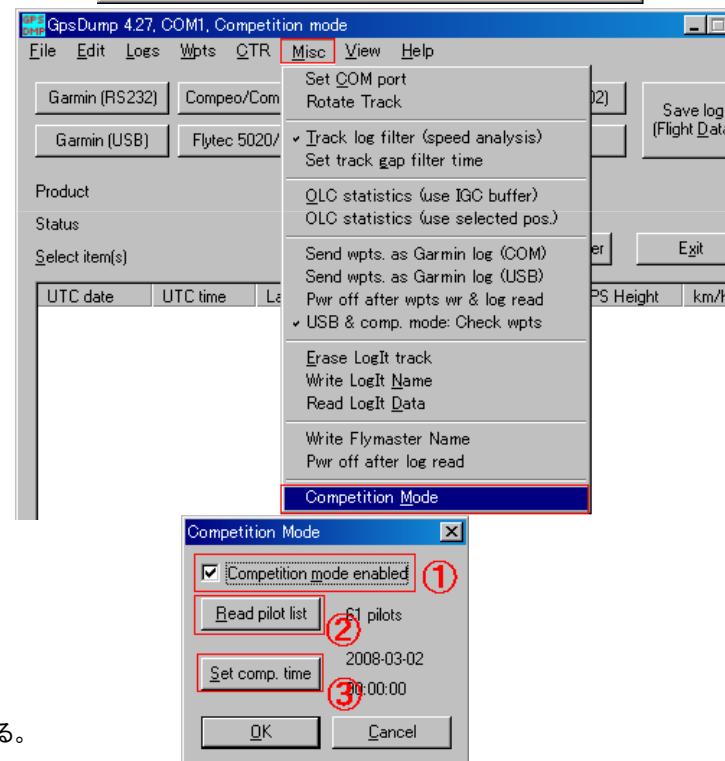
赤囲部分「Track log foder」の「Brows」ボタンを押すと右図のフォルダの参照ダイアログが表示される
タスクのトラックログを置くフォルダを大会フォルダ下に作成し、指定しOKボタンを押す。

fsdbファイルを上書き保存する(Ctrl + S)

GpsDump を設定する

大会モードの設定

GpsDumpにて「Misc」→「Competition Mode」

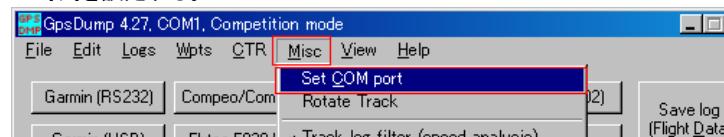


右図のダイアログが開かれるので、

- ①のチェックボックスをチェック。
- ②の「Read pilot list」ボタンをクリックし、
大会フォルダ下のfsdb ファイルを指定する。
- ③の「Set comp. Time」をクリックし
タスクが行われた日程とゲートオープン時刻を設定する。

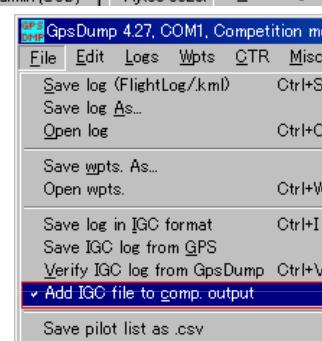
COM ポートを設定する

GpsDump の「Misc」→「Set COM port」で当該COMポートを設定する。



IGCファイルも同時に保存したい場合

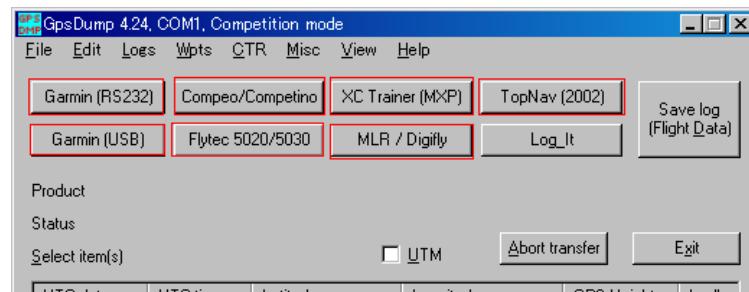
「File」→「Add IGC File to comp.output」にチェックを入れる。



各選手のGPSトラックログをダウンロードする。

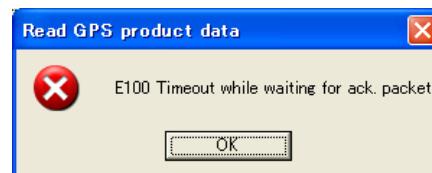
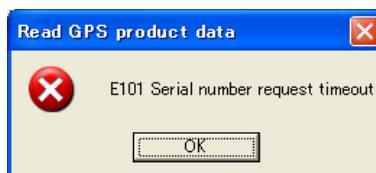
各選手のGPSをPCIに接続し、該当GPSボタンを押し、ダウンロードを開始する。(右図参照)

DLが開始される。
XCトレーナーの場合はボタンを押してからGPSの送信を始める操作が必要



右図の赤囲部分のように「Comp ID」と「状態がreceivedになっていること」を確認する。

もし以下のダイアログが現れたら、

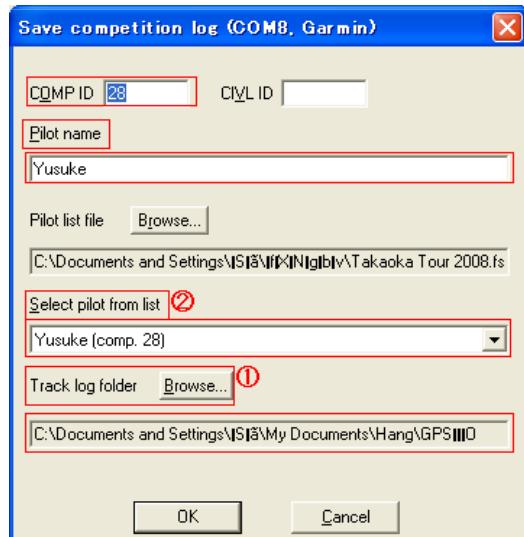


GPSの電源・COMポートの設定を確認。
GPSに応じたDLボタンを押しているか確認。

トラックログのダウンロードが終われば、右図のダイアログが表示されるので、
①トラックログフォルダー「Browse」ボタンを押して、保存先を選択
各タスクごとにフォルダをつくり、それを指定する。
②「Select pilot from list」のチェックボックスより該当選手を選択する。

「OK」ボタンを押せば、
自動で指定した大会の各タスク用フォルダに「.kml」ファイルが保存される。
「Add IGC File to comp output」がチェックされていれば
「IGC」ファイルも保存される。

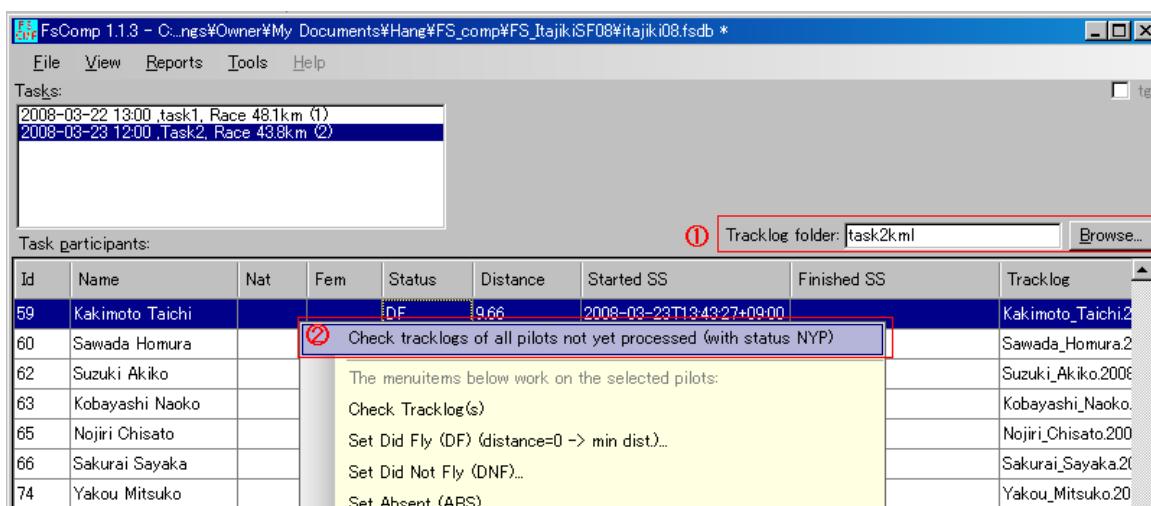
ケーブルを次の選手のGPSに繋ぎ変え、
全選手のDL作業を行う



GPSトラックログの確認

FsComp にて「View」→「Tasks」を開いたものが下図。

左よりゼッケン、氏名、国籍、女性、状態、距離、SSのスタート、SSの終了、トラックログのファイル名、メモ、減点%、減点、減点理由、タスク終了時刻が表示され、状態はABS(欠席)、DF(フライトした)、DNF(フライトしなかった)、GOAL(ゴール)、NYP(未処理)がある。



①「Tracklog folder」の「Browse」ボタンをクリックし、GPSトラックログを保存したフォルダを指定する。

②FsComp の選手リストにポイントを合わせ、

右クリック → 「Check tracklogs of all pilots not yet processed (with status NYP)」をクリック

各選手の距離等をFsFlightで確認する。

「Distance」欄で確認し、飛行距離等が疑わしい場合は

「Tools」→「Fs Flight」でFsFlight を開き

[操作方法はFsFlightのシートを参照](#)

FsFlightの「File」→「Select Task」で該当タスクを選択する

もしくは、FsFlightの「File」→「Select Folder with tracklogs」で該当フォルダを選択する

左下欄の選手を選び、詳細を確認する。

Abs (欠席)の選手の入力

該当選手を左クリックで選択し、右クリックし、

「Set Absent(ABS)」を選択する。

コメント入力ダイアログが表示されるので、入力し、「OK」ボタンを押す。

DNF(飛べなかった選手)の選手の入力

該当選手を左クリックで選択し、右クリックし、

「set Did not fly(DNF)」を選択する。

コメント入力ダイアログが表示されるので、入力し、「OK」ボタンを押す。

ミニマム距離以上飛べなかった選手の入力

該当選手を左クリックで選択し、右クリックし、

「Set Did Fly(distance=0 ->min dis)」をそれぞれ選択する。

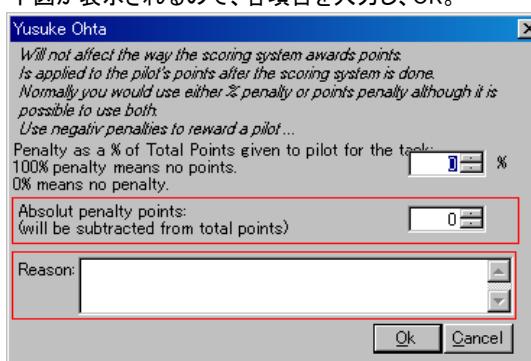
詳細入力ダイアログが表示されるので、入力し、「OK」ボタンを押す。

減点をつける場合

該当選手を選択し、右クリック、

「Set Total Points Penalty」をクリックすると、下図ダイアログが表示され、

下図が表示されるので、各項目を入力し、OK。



減点は全体の集計計算には影響しない。

集計計算が終わってから、減点が適用される。

通常は何%かの減点だが、何点かの減点もできる。

両方使うことも可能。

表彰すべき選手にはマイナスにすると、加算される。

「Penalty as a % of~」

その選手のそのタスクの得点を〇〇%減点。

100%は0点となり、0%は減点しない。

「Absolut penalty points」

その選手のそのタスクの得点から〇〇点減点。

「Reason」

減点(加点)が行われる理由

各タスク終了後、タスクリザルトを出す。

FsComp にて

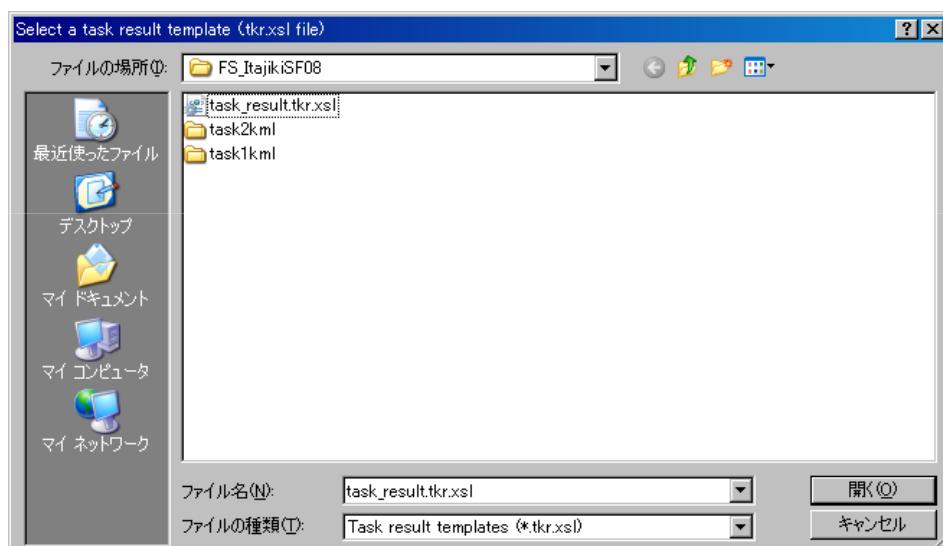
「Reports」→「Task result」を選択



タスク結果出力用テンプレート(xsl ファイル)が、
大会フォルダに無ければ、FSプログラムフォルダからコピーされると表示→OK。



タスク集計用テンプレート（XSL ファイル）を指定



「title」と「status」を入力し、OKを押す。
タスクを選択する。

名前を入力し、Okを押す。

デフォルトではタスクの日付と保存時刻が「task_result_2008-03-23_(20080329-0213).html」のように命名される。

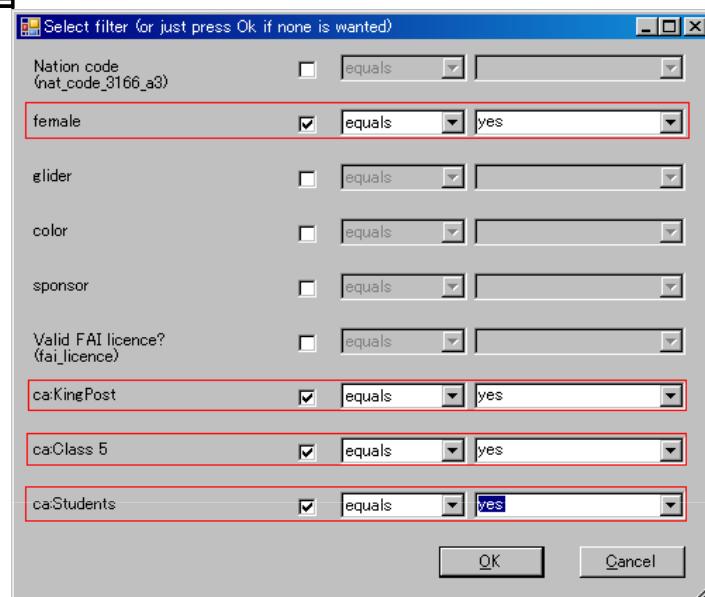
女性・学生またはツノ有り等の結果を出す場合

FsComp の「Reports」

→「Task result with filter...」を選択し、
上と同様にし、「select filter...」ダイアログの部分で
「Female」欄のチェックボックスにチェックを入れ、
次のチェックボックスで「equals」を選択し、
その次のチェックボックスに当てはまる値を選択し、
「OK」ボタンを押す。

「KingPost」や「Class5」、「Student」も同様

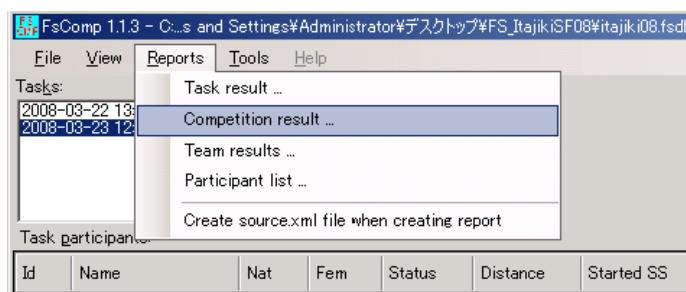
以下同様に作業する。



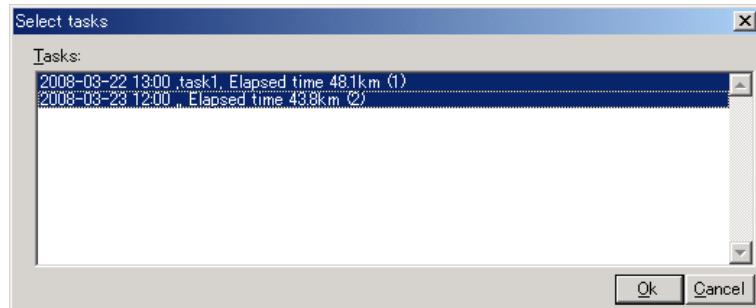
大会集計

各/全タスクが終了すれば、レポート→コンペティションリザルトを出す。

FsComp の「Reports」
→「Competition result」を選択



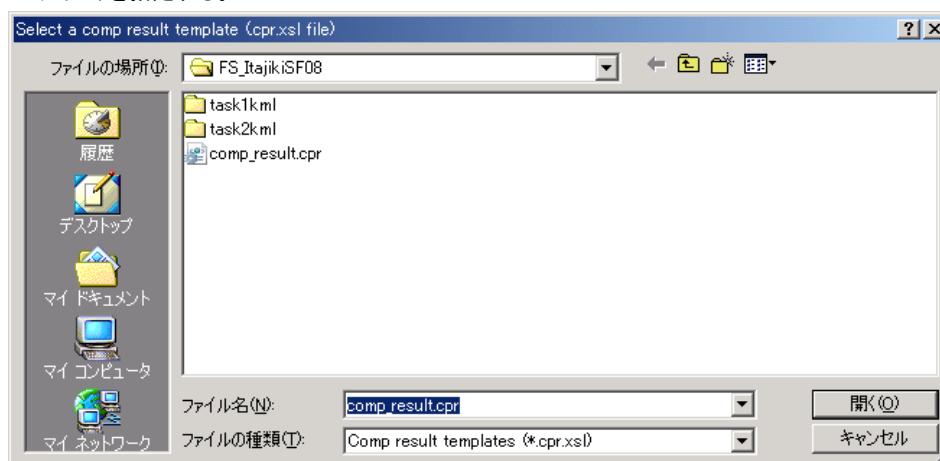
該当タスクを選択し、
OKボタンを押す。



大会結果出力用テンプレート(xsl ファイル)が大会フォルダ下になければ、
FSプログラムフォルダから大会用フォルダにコピーしたとダイアログが言ってくるので、OKボタンを押す。



大会集計用テンプレート(XSL ファイル)を指定する。



「title」と「status」「top_x_tasks」を入力し、OKを押す。

「status」にはステータスを入れる

仮発表や公式結果等

「top_x_tasks」には未入力でよい。

OKボタンを押すとファイル指定を聞いてくるので、

分かりやすく名前を付けて保存。

デフォルトでは大会の日付と保存時刻が「comp_result_(20080405-0350).html」のように命名される。